



水田 恒一 議員

### 生活弱者のごみ出し

#### 問

同居する健康な家族のいない高齢者や障がい者のごみ出しに対して、支援する対策を考えてみてはどうか。

#### 答 市民福祉部長

近年の高齢化に伴い、生活する上で欠かすことのできないごみ出しに支障を来している世帯についての意見が寄せられることがある。

本市では、できる限り、対象者の近くに、ごみ集積場所の新設等を地域で検討いただいている。介護保険の要介護認定を受けている方について

は、訪問介護サービスの中で、ごみ出しをしても行うことができる。要介護認定申請は長寿介護課で受け付けており、周知を図りたい。

障がい者については、個別支援計画に基づき、居宅介護サービスの中で、ごみ出しをしてもらうことができる。福祉課へ相談、申請されるよう周知を図っていききたい。

今後、本市でも重要となってくる問題であり、地域や各種団体と連携をとり、本市に合った生活弱者への、よりよいごみ出し方法について検討していききたい。



### 小規模建設関連個人事業主支援を図ってはどうか

#### 問

建設業許可のない小規模建設業者への発注は、どうなっているか。

個人事業主らの受注機会の拡大を図り、市内経済の活性化を図ってはどうか。

#### 答 総務部長

例外規定を設けているが、建設業許可を受けていない小規模建設事業者への直接発注は行っていない。

提案の小規模契約希望者登録制度の導入は、受注機会の拡大という点では、一定の効果があると思われる。しかし、公共工事は経済性に配慮し、価格及び品質の両面ですぐれた調達を行うことが重要で、工事の適正な履行が前提となる。

したがって、資力、信

用力、技術力等の一定の参加資格を判断する必要があり、その判断基準となるものが建設業許可である。

県内2つの自治体で、小規模契約希望者登録制度を試行的に取り入れており、今後の参考として課題や問題点等、調査研究を進めていきたい。

### 中山間地農業と生薬(しょうやく)栽培

#### 問

中山間地の耕作放棄地や廃棄タバコ畑等への生薬栽培等の新規作物の開発を研究し、中山間地農業の活性化を図ってはどうか。

#### 答 中村市長

生薬栽培は、生薬の持つ特有のにおい等により、野生鳥獣の被害を受けにくいことや、安定供給への期待から、荒廃地対策の一つとして関心が高

まっている。

県やJA等の関係機関と連携し、廃作農家への要望調査や転作作物の協議を行っている。生薬栽培に関する情報提供も含め、廃作農家が葉たばこで培った栽培技術を生かせるよう関係機関とともに指導、助言を行っていききたい。

中山間地域の経営を継続し、農地を守っていくために、六次産業への取り組み、農業法人化への誘導など、各種の施策を複合的に実施することが必要と考えている。

中山間地等直接支払制度や農地・水保全管理支払交付金を積極的に活用するなど、耕作放棄地の拡大防止の取り組みを進めていきたい。

### その他の質問事項

- ・ 固定資産税に関して
- ・ 自転車に関連して